

## 平成27年度宮崎大学診療科合同説明会

9月25日(金)に平成27年度宮崎大学診療科合同説明会が開催され、研修医18名、診療科から37名の参加がありました。

説明会は卒後臨床研修センター 片岡センター長のご挨拶・乾杯の発声で始まり、各診療科からは2分ずつのプレゼンテーションをしていただきました。短い時間でしたが、各診療科の個性溢れるユーモアたっぷりのプレゼンテーションに、今年も大変盛り上がりしました。

最後は麻酔科恒吉教授の万歳三唱で盛会のうちに終了しました。

宮崎大学医学部6年生  
「臨床実習終了後納涼会&全診療科合同説明会」

7月30日(木)にキャリアデザインサポート委員会・卒後臨床研修センター共催の、本学医学部6年生を対象とした「臨床実習終了後納涼会&全診療科合同説明会」が開催されました。

医学生約80名、研修医15名を含めた、総勢約150名が参加し、宮崎大学研修の魅力を各診療科がアピールするプレゼンテーション、医学生・研修医代表のメッセージを挟みながら、最後は医学部長の含蓄ある締めのお言葉で、楽しく熱い雰囲気の中3時間の会は大盛況のうちに幕を閉じました。



## 研修医の声



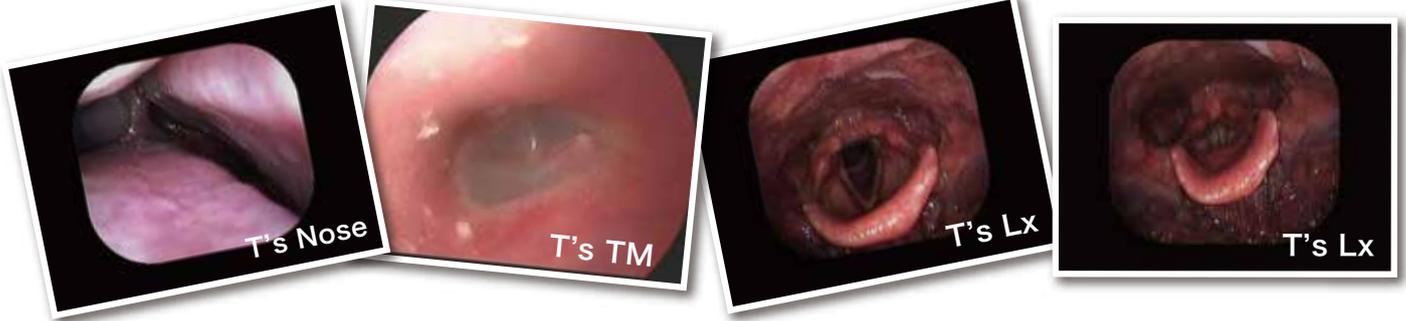
研修医として働き始めてからあっという間に日々が過ぎ、気づけば残り半年になってしまいました。この1年半の間で大学病院を中心に県内各地の病院で研修し、多岐に渡る経験をさせていただきました。辛い時や不安な時もありましたが、素晴らしい指導医の先生方や卒後臨床研修センターの方々、信頼できる先輩・同期にも恵まれ、宮崎大学で研修してよかったなと心から思っています。将来は地元宮崎の医療に貢献できるようにこれからも日々精進していきたいと思えます。



1年次研修医の佐藤文明です。宮崎大学医学部附属病院に9月より勤めさせていただいています。4月から6月までは宮崎県立延岡病院で救急を、7月から8月までは古賀総合病院で外科を研修していました。大学病院とは異なる電子カルテや勤務形態で働いていましたので、まだまだ不慣れな点が多くあります。一緒に働いてくださる方々には、数多くのご迷惑をおかけするかと思います。何卒、ご指導の程よろしくお願い致します。

# 2年次研修医に聞き耳

(今回は、耳鼻いんこう・頭頸部外科をローテート中の津曲 省吾 先生に同行しました)



津曲先生が現在研修している、耳鼻いんこう・頭頸部外科は、耳科学・鼻科学・咽喉頭・頭頸部外科の分野について、日々診療を行っています。



よき先輩医師と、患者の状態・治療方針について検討・決定していきます。



扁桃摘出術を始め、2ヶ月で10例以上の執刀手術を経験します。



執刀手術の手術記事は、もちろん自分で書き上げます。



学会参加のため、遠路はるばる長崎まで行きました。



学会発表の後のお酒はサイコーです。



## 1週間のスケジュール

月曜

手術  
頭頸部腫瘍カンファ  
(形成外科・放射線科・病理部・歯科口腔外科と合同)

火曜

外来・手術

水曜

手術  
難聴支援カンファ

木曜

外来・病棟回診  
放射線治療カンファ

金曜

手術

月刊ツマガリ編集部  
編集長; Dr.松田  
職員; Dr.平原 Dr.山田

# 海外医療体験(プリンス オブ ソンクラ大学)研修報告

## 2 年次研修医 梶田 一旭

平成27年8月、タイ王国のPrince of Songkla UniversityのEmergency RoomとFamily Medicineで臨床研修を行いました。日本とは研修制度が異なるため単純な比較はできませんが、タイの研修医はより高度な働きと自立した判断が要求され、治療方針においても多くの裁量権が与えられているように感じました。タイの研修医がその要求に応えるべく研鑽を積み、活躍する姿は、彼らと同世代の自分にとってはとても刺激的であり、日本に戻ってからも研修の活気に

なっています。Songkla研修に少しでも興味があるなら選択する事をお勧めします。あなたのキャリアにきっと役立つことと思います。



(写真右から2人目)

このような機会を与えて下さった方々にこの場をかりて、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 2 年次研修医 高村 一成

今回、私はタイ国にあるPrince of Songkla Universityにて3週間の研修をおこなってきました。各1週間ずつ、ER department、Pediatrics department、Family medicine departmentの3つのdepartmentで研修しました。

海外の医療を知る事で日本の医療がどの点で優れているか、また、見直すべき点はないか等、客観的に母国の医療を知るいい機会になりました。また、同世代の若手の医師が中心的役割を担って活躍しているのを見て、自分もより努力すべきだと強く実感させられました。今

回の経験を生かして先の医師としてのキャリアに役立て、また、少しでも日本の医療に生かせればと考えます。とても刺激的な3週間でした。



(写真右側)

この場をかりて、このような貴重な経験の場を設けてくださった宮崎大学の関係者の方々、PSUの関係者の方々に深く感謝申し上げます、ありがとうございました。



## 研修医マッチング



平成28年度研修開始予定の「臨床研修マッチング」が行われ、医師は10月22日(木)、歯科医師は10月27日(火)にマッチング結果が発表されました。

【医 師】	自主デザイン研修プログラム	31名	計33名
	小児科研修重点プログラム	1名	
	産婦人科/周産期研修重点プログラム	1名	
【歯科医師】	歯科臨床研修プログラム	4名	

## 研修センターコラム

### 「みなさん、白衣ってどうしていますか??」

坪内 拓伸先生



こんにちは。卒後センターの坪内です。みなさん白衣ってどうされていますか?

自分が研修医生活を送っていた際、救急医のドラマ「コード・〇〇ー」が流行りました。そのころから急速にスクラブを着る医師の数が増えたと思います。自分は病院支給のケシー白衣がブカブカで、パン屋さんにか見えなかったので、スクラブを着るようになりました。当時、まだオシャレ白衣なる概念は無かったと思いますが、現在では一着2万~3万円もするブランド白衣が良く売られています。当院でも、オシャレ白衣族の先生方の数人が着用しているのを見かけました。

自分は学生時代に購入した、〇い巨塔の「財〇助教授モデル(約4000円)」を愛用しています。内科に入局したのですが、雰囲気だけでも外科の先生みたいにカッコイイ感じが出たらいいなと思い、現在も「コード・ブ〇ーモデル」のスクラブとともに着用中です。院内ではスクラブ着用派の中でも年長者に入るとは思いますが、あと数年は着用したいと思っています。

色々和流行りはありますが、患者さんが適切と思う範囲内で、服装を楽しく考えたいと思います。

## 「未来の医療を語り合う全員交流 in MIYAZAKI」

9月8日(火)に青島グランドホテルにおいて、キャリアデザインサポート委員会企画、宮崎県臨床研修運営協議会の主催による「宮崎大学医学部5年生未来の医療を語り合う全員交流会 in Miyazaki」が開催され、河野俊嗣宮崎県知事をはじめ、宮崎県医師会長、宮崎県内基幹型臨床研修病院から指導医・研修医が参加しました。

地域医療・総合診療医学講座 吉村教授による「みやざき地域医療」の講演会や企画コーナーがあり、企画コーナー「本音トーク!みやざき医療のあるある!」では、河野俊嗣宮崎県知事と宮崎県医師会長が各テーブルをまわり、医学部5年生全員と名刺交換を行い、交流を図りました。どのテーブルからも笑いが溢れ、盛会のうちに終了しました。



### 行事案内 (11月~4月)

11月	24日(火)	宮崎大学医学部附属病院群卒後臨床研修プログラム説明会
12月	6日(日)	平成28年度研修ローテート等説明会
	7日(月)・14日(月)	1年次研修医(医科)グループ面談
	13日(日)	eレジフェア2015(福岡市)
	19日(土)・20日(日)	平成27年度「指導医のための教育ワークショップ」(宮崎市)
1月	30日(土)~31日(日)	第109回歯科医師国家試験
2月	6日(土)	基本的臨床能力評価試験
	6日(土)~8日(月)	第110回医師国家試験
3月	上旬	医師研修管理委員会・歯科医師研修管理委員会(修了判定)
	18日(金)	医師・歯科医師国家試験合格発表
4月	1日(金)~	平成28年度研修医オリエンテーション

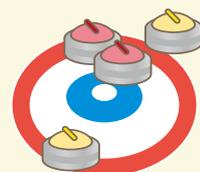
なんでも  
掲示板

### 研修『何でも掲示板』への原稿・記事募集!

研修に関する情報共有、意見交換の場として『何でも掲示板』のコーナーを開設します。内容は研修に関することなら何でも結構です。これは研修医に知ってほしいという情報、メッセージなどをぜひお寄せください。みなさまからのご応募をお待ちしております。

- 例)【内容】 研修医や指導医へのメッセージ、研修関連勉強会の案内、トピックスの紹介など  
【字数】 200~400字程度  
【図表】 1点まで可(掲載できるサイズが小さくなります。)

※センター通信発刊月は毎年3回(4,8,12月)です。



宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200  
TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-3101  
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp